

決議事項要約
国際理事会会議
米国ワイオミング州ジャクソンホール
2019 年 10 月 9 日～12 日

会則及び付則委員会

1. Al Rehab ライオンズクラブより申立てられた地区紛争処理における過半数の調停者の裁定を承認し、2019 年 5 月に開催された 352 地区大会で Ahmed Salem 元地区ガバナーが国際理事候補として推薦されたことを支持。
2. 元会員 Byung-Gi Kim は将来ライオンズの会員になる資格を持たないこと、さらに、今後ライオンズ会員としても、元国際理事としても認められないことを宣言。
3. 理事会方針書第 25 章に定められている国際役員及び副地区ガバナー選挙抗議申立て手順を改訂し、国際第三副会長および国際理事の選挙が、その所属地区または複合地区の推薦承認のための選挙であって、選出のための選挙ではないことを明確化。
4. 理事会方針書第 6 章 B 項 1 を、過去に承認済みの変更と整合するように改定。
5. 2020 年国際大会に報告するため、投票が大会中 3 日間かけて行われるという現行の慣例を反映させる、国際付則第 2 条第 6 項の改正案を起草。
6. 2020 年国際大会に報告するため、地区ガバナーの空席補充のための特別会議では、任命によって地区キャビネットの役職に就いている者から投票権を取り除き、会議の 15 日前までに有資格のすべての出席者に通知を行うことを義務付ける内容の国際付則第 9 条第 6 項(e) 改正案を起草。
7. 2020 年国際大会に提出するため、2021 年 7 月 1 日より年会費を 3 ドル増額し、2022 年 7 月 1 日からは米国のインフレーション調整を前年度の半期会費に毎年適用することを認める、国際付則第 12 条第 2 項(a)の改正案を起草。

大会委員会

1. 2020 年シンガポール国際大会における、他の経費支払いを受けない資格証明委員会被任命者の日当金額、地区ガバナーエレクトと地区ガバナーエレクトセミナー講師の日当金額、国際本部スタッフの日当金額を決定。
2. 2020 年シンガポール国際大会の日程を変更。
3. 地区ガバナーエレクトが払戻しを受けられる国際大会での宿泊日数を増加。
4. 理事会方針書の該当箇所を八つの会則地域に改正。

地区及びクラブ・サービス委員会

1. イラク共和国を地区未編成国として認め、Amine Hacha 元ゾーン・チェアパーソンを、本会計年度の残る数カ月間、この国のコーディネーター・ライオンとして任命。
2. Rodolfo Espinal 国際理事を、今年度の残る数カ月間、ハイチ共和国のコーディネーター・ライオンとして任命。
3. 315-A2 地区（バングラデシュ）より提出された地区再編成案を承認。これは 2020 年国際大会閉会時に有効となる。
4. 割り当てられた予算内で地区ガバナーが必要に応じて複数のクラブを訪問できるよう、地区ガバナー経費払戻し方針を改正。
5. 2020 年国際大会で投票に付すために、地区ガバナーの空席補充のための特別会議では、任命によって地区キャビネットの役職に就いている者から投票権を取り除き、会議の 15 日前までに有資格のすべての出席者に通知を行うことを必須とする、国際付則の改正案の起草を会則及び付則委員会に要請。
6. 副地区ガバナーの空席補充のために招集された特別会議で投票できるのは、地区ガバナー、残りの副地区ガバナー、元地区ガバナー、元国際理事、元国際会長に制限し、会議の 15 日前までにこれらの役職に通知を行うことを義務付けるため、標準版地区付則を改正。

財務及び本部運営委員会

1. 赤字となる 2019～2020 年第 1 四半期の収支予想を承認。
2. 2020 年国際大会で投票に付すために、国際会費に関する国際付則への改正案の起草を、会則及び付則委員会に要請。
3. ライオンズクラブ国際協会 401（k）の投資方針を改正。
4. 利益相反方針に関して明確にするために、理事会方針書第 2 章を改定。
5. クラブの特別非常時ステータスに関してさらに明確化を図るため、理事会方針書第 5 章を改定。
6. 協会の現行の慣例に合わせるとともにそれに関連する事務的な変更を加えるために、理事会方針書第 11 章を改訂。
7. 理事会方針書第 23 章にアフリカを会則地域 8 として組み込むことにより、同章を改訂。
8. 執行役員の旅行および経費払戻し方針を改定。
9. 購買方針における署名権限レベル一覧を改定。

リーダーシップ開発委員会

1. 2020～2021 年度の年次研究会スケジュールを前年度より 4 カ月早くまとめることを承認。研究会スケジュールが 2020 年 4 月までに、また研究会参加申込書が 2020 年 5 月 1 日までに公開可能となるようにするため。
2. 国際協会のデジタル環境内での「Learn」という新しいアプリの段階的公開を確認。これには新たな GAT-GLT 報告ツールとライオンズ学習センターが含まれており、2020 年 1 月にはすべてのライオンズレオ会員がアプリを利用できるようにすることを目標としている。
3. 今後 4 年間、すべてのリーダーレベルを対象としたリーダーシップ開発の道筋に対する将来のカリキュラム改定案を承認。

長期計画委員会

1. 地区ガバナーの役割検討プロジェクトの「発見」段階を開始するために、スタッフによるチームが編成されたことを認識。
2. LCI フォーワード・プロジェクトチームの設立趣意（草案）を確認し、チームメンバーを任命。
3. 理事会代表に関する特別委員会を 2019～2020 年度に設立するという、以前に承認された決定を撤回し、理事会代表に関する新たな特別委員会は 2023～2024 年度まで今後検討しないことを承認。

マーケティング・コミュニケーション委員会

1. 理事会方針書第 19 章 A、B、C、D の各項を、使われなくなった文言を更新し、マーケティング部の優先事項を明確化することにより改訂。一般に、この章に加えられた更新は、デジタル手段を通じてより多くのメディアとコンテンツ配信に向けた移行を反映させるもの。
2. 理事会方針書第 19 章 F 項を、キャンペーン 100 に関連する表彰に使う会長賞およびリーダーシップ・アワードの数を増やすために改定。2019～2020 年度と 2020～2021 年度に関しては例年比で、会長メダルが 200 個（合計 1825 個）、リーダーシップメダルが 200 個（合計 1980 個）増えることになる。2020～2021 年度終了後、交付可能なリーダーシップメダルと会長メダルの数は、増加前の数に自動的に戻る。
3. 理事会方針書第 19 章「公認プロトコル」の冒頭の段落にある説明を明確にするために改訂（「precedent」という形容詞の単語が「precedence」という名詞の単語に差し替えられた）。

4. ライオン誌国際編集者会議を編集長の裁量で開催できるよう、ライオン誌に関連する文言を変更。その結果、理事会方針書第 2 章 J 項 1.c.(7)が改正され、「毎年」とある語句が削除されて「ライオン誌の編集長が必要と決定したときに」という文言に差し替えられた。
5. 3231 複合地区、J 複合地区、LD 複合地区、H 複合地区、103 複合地区、50 単一地区から申請された PR 補助金を承認。
6. 複合地区と単一地区に加え、今後は準地区、暫定ゾーンおよびリジョンからも申請が行えるよう、PR 補助金交付基準を調整。これらの変更は正式に 2020～2021 年度の申請書に加えられる。2019～2020 年度に関しては、申請があれば受付けが暫定的に認められ、マーケティング・コミュニケーション委員会が承認を行う。
7. 大会委員会とマーケティング・コミュニケーション委員会の話し合いの一部として、スポンサー確保の機会を探ることについて議論。次回の理事会会議で両委員会に報告が行われることを目標に、この取り組みの一環として案内書の作成等について検討した。

会員増強委員会

1. レオライオン会員種別とそれに関連するすべての特典の対象年齢の上限を、30 歳から 35 歳に引き上げ、理事会方針書においてレオライオンの年齢上限に言及している規定を、35 歳に改正。
2. ノルウェー・ライオンズクラブという特別なバーチャルクラブをパイロットプログラムとして設け、2022 年 10 月/11 月の理事会会議で審議するという 104 複合地区からの提案を承認。
3. 8 名のライオンと 8 名のレオを、2020 年 7 月から 2022 年 6 月までの任期を務めるレオクラブ諮問パネルメンバーとして承認。また、7 名のライオンと 8 名のレオを補欠として承認。
4. 2020 年 6 月のパイロットプログラム終了時までスペシャルティクラブ・コーディネーターが払戻し請求を行う際に使用する基準を改正。これまでは、三つのスペシャルティクラブを結成し、かつ 100 人の新会員を勧誘することが最大 2,000 ドルの払い戻しを受けるための条件であった。新たな基準では、二つの新しいスペシャルティクラブを結成すれば、最大 1,000 ドルが払い戻される。
5. 同時に 30 人以上の新会員を既存のクラブに追加する場合は、地区ガバナーの承認を必要とすることを決定。
6. 2020 年 7 月 1 日より、複合地区 GAT コーディネーターの任期を 3 年から 1 年に変えることを反映させるため、理事会方針書第 24 章の文言を改訂。

奉仕事業委員会

1. ライオンズクラブ国際協会の Strides 糖尿病教育プログラムの新しいロゴとブランドアイデンティティを承認。
2. 国際関係について国際協会の現在の慣行とよりうまく擦り合わせるために、理事会方針書第 13 章 D 項 4 を改訂。
3. クラブの奉仕報告の重要性について討議し、今後 1 年間にその増加を計画。
4. 国際糖尿病連合との協力で、2 型糖尿病のスクリーニング検査を 100 万人に提供することで世界糖尿病デーを祝うための計画を確認。
5. 2 型糖尿病スクリーニング検査、糖尿病少額交付金、Strides、糖尿病キャンプ、サポートグループ、ライオンズ・アイバンクを含む、現行および予期される様々のプログラムについて最新報告を確認。

テクノロジー委員会

1. GDPR について詳細に議論。委員会は会員のプライバシーに対する継続的取り組みの重要性を認識した。
2. 既存の各プロダクトおよびロードマップに関する最新報告を受け、大会、地区及びクラブ・サービス、リーダーシップ開発、マーケティング・コミュニケーション、会員増強、奉仕事業の各委員会と討議した。
3. テクノロジーの活用（特に自然言語処理と機械学習の部分におけるもの）を複数確認した。
4. e コマースに関する最新報告を受け、今後に向けて提案されているアプローチを承認。

上記決議事項のいずれかに関する詳細は、国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）でご覧いただくか、国際本部（電話：+1 630-571-5466）にお問い合わせください。